



## クマ対応にクマった6月

6月になって、梅雨とは思えないくらいの夏日が続いています。天気のせいもあるのかはわかりませんが、クマの目撃情報が続いており、学校でもお迎えをお願いしたり、難しい場合は学校から車でお送りするなどして対応しています。クマも山を下りたくて下りてきているわけではなく、食べ物を探して街の方へと歩みを進めていることを考えると、人間の生活圏とクマの生活圏の両方を守っていくための対策も必要です。クマが桑の実を食べている姿を見た子どもたちもあり、保護者のお迎えをお願いしたり、家まで送るなどの対応もおこないました。その他にも、藪を整備して見通しをよくしていく対策なども住民みんなで行っていく必要があるのを、声を掛け合っていけると良いなと思います。

## 6月に取り組んだこと

6月は祝日も無いのでちょっと疲れも出てくる時ですが、あっという間に過ぎた感じがします。

### 学校選択制・学校見学説明会を開催しました

6月20日と23日に、学校選択制に関する第1回学校見学説明会を開催しました。20日は第二小学校、23日は第一小学校で丸一日行われ、第二小学校には9組、第一小学校には4組の親子や保護者が参加し、じっくり学校の様子を見学をしていただく機会となりました。

教室の様子を見学しながら「今って、タブレットはひとり1台なんですか?」「今は子どもたち同士がおしゃべりしながら学ぶことが許されているんですね」など率直な感想や質問を投げかけてくださる方が多く、帰り際に「見に来てよかったです!」とおっしゃっていただく場面もありとても嬉しく思いました。

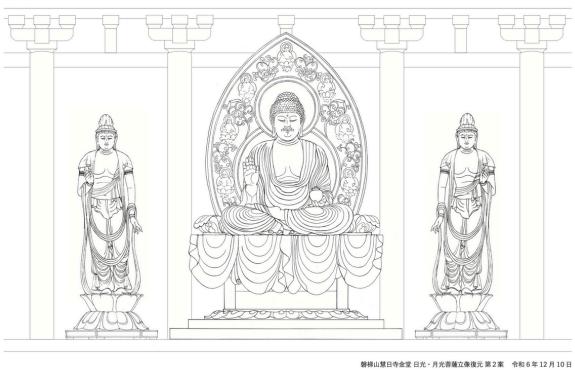
今後の流れとしては、8月に第1回意向調査を実施、10月に第2回学校見学説明会と開催、11月に最終意向調査を実施する予定です。



### 史跡慧日寺跡金堂脇侍像復元に向けた取り組みが始まります

史跡慧日寺跡金堂脇侍像（日光月光菩薩）の復元について、これまで話し合われてきましたが、この度会津工業高校と磐梯町が協働して授業の一貫で、3Dプリンターによる日光月光菩薩を制作することになりました。高さは約120cmで、1体の制作に5ヶ月かかるそうです。出来上がりをお楽しみに！

（全文）



### 定例教育委員会の会議録を公開しました

今年度から、定例教育委員会の会議録をインターネット上で公開することにいたしました。会議録は、次の月の定例教育委員会で内容が承認されてからの公開になりますので、公開までには少し時間がいただきますが、「どんなことが話し合われているのか」を少し感じていただけるのではないかと思います。



磐梯町教育ポータル

### 地域活性化企業人として新しい仲間が参画します2



磐梯町では、磐梯版ネウボラという0才から15才の子どもたちの成長に、色々な専門家が繋がり寄り添い支える仕組みがありますが、7月1日より「公認心理士」として新たに古島千尋（ふるしまちひろ）さんが参画してくれることになりました。主に0才から5才の子どもたちの成長を見守り、子どもが困っていることなどについて、関わる大人と共に手立てを考えるサポートをします。毎月1回の定期訪問となりますので、保護者のみなさまも含めてどうぞよろしくお願ひいたします！

# 磐梯町における 給食の「魅力化」について

磐梯町では、給食の「無償化ではなく魅力化」という町長の声掛けのもと、「給食の魅力化ってどういうことなんだろう?」と昨年度から少しづつ整理を進めてきました。今年度になり、ある程度言語化できましたのでみなさまにもお伝えさせてください。給食の魅力化をはかるために、**以下の4つを推進**して参りますのでよろしくお願いします。

## たのしくおいしく食べることのできる「環境づくり」

各学校園における給食の準備・配膳方法から、食事環境について「たのしく」「おいしく」食べる環境づくりについて見直しをします。



## 給食を「つくる」ひとたちとの顔の見える「関係づくり」



調理員や栄養教諭はもちろん、食材をつくっている農家さんの顔や名前を知りそれぞれの調理や食材づくりに関する「想い」を、子どもたちが学ぶきっかけづくりをします。

## 地場産の食材を使った「献立づくり」

地場産の食材を1年を通して活用できるようにし、児童生徒にもその活用が見え、食材をより身近に感じることができます。



## 持続可能性を重視した「食の循環づくり」



廃棄する食材や残食に関する知識や生ゴミを活用した堆肥づくりなどを通して、子どもたちも「体験的に」食の循環を学びます。

## 6月のできごと

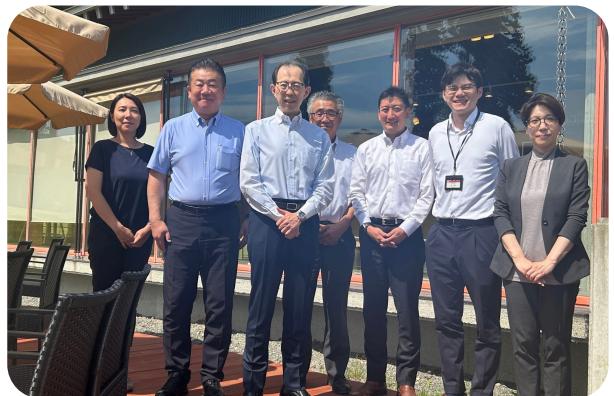
### 磐梯町ロードレース大会を開催しました

6月15日に星野リゾート ネコマ マウンテン南エリア周辺でロードレースが行われました。今年はあいにくの小雨の中での開催となりましたが、親子での参加も多く、心臓破りのレースにトライするランナーのみなさんの、苦しそうだけども真剣で満足した表情を見て「いいレースだなあ」としみじみ感じました。みなさんおつかれさまでした！



### 内堀県知事が磐梯町に来訪しました

6月30日に福島県知事の内堀雅雄氏が磐梯町を来訪されました。町長、副町長と共に磐梯町の幸せ再デザインに関することと、あたらしい「磐梯の教育」についてご説明させていただき、その後の懇談では、内堀知事の柔軟な発想に大変驚かされました。最後は、私たち全員とハイタッチをしてからお帰りになり、笑顔の絶えない時間を過ごさせていただきました。



## 教育DX 「12のやめることリスト」

教職員が子どもたちにより向き合う環境をつくるために教育DXからの視点でデジタル庁が整理した「12のやめることリスト（デジタルに変えること）」があります。磐梯町では全学校園でコドモンを使用しているため、12のリストのうちのいくつかはクリアできるのですが、じっくり考えてみると100%できていることは半分も無いな…と感じました。教育委員会内でも同様です。スピードを上げて取り組みたいことの1つです。

- ① 電話等による児童生徒の欠席連絡等の受付
- ② 紙での保護者への調査・アンケート
- ③ 紙での各種調査票等の学校から保護者への配布・保護者から学校への回収
- ④ 紙での教職員への調査・アンケート
- ⑤ 新入学児童生徒の名簿情報の校務支援システムへの不必要な手入力
- ⑥ 電話や書面による保護者との日程調整
- ⑦ 職員会議等資料の紙での共有
- ⑧ 紙での児童生徒への調査・アンケート
- ⑨ 学校から保護者へ発信するお便り等の紙での配布
- ⑩ 教職員が作成した教材等の各自での保存
- ⑪ 学校徴収金の現金徴収
- ⑫ 紙での学校内外の行事日程や特別教室等に係る利用予約等の管理

※なお、デジタル機器を有しない家庭への対応など、地域や学校の実情を踏まえ柔軟な対応を進めることが重要  
デジタル庁・総務省・文部科学省・経済産業省「教育DXロードマップ」より